



ある日、5歳児クラスの2人の子どもが「園長先生、お願いがあります」と事務所にやってきました。「あの、これをカラーコピーお願いします」「これで紙芝居を作りたいから同じ絵が良いんだよね」と色鉛筆で書かれた絵を見せてくれました。コピーを渡すと「おおー！ありがとうございました」と嬉しそうに帰っていきます。翌日も「またコピーお願いします」と来ました。2人でストーリーを話し合い、絵を描いて毎日着々と進めているようでした。数日後「ちょっと事務所でやっていいですか」と言うので「どうぞ。でもどうしたの?」と聞くと「みんなに内緒で紙芝居作りたいんだけどさ、みんな見るんだよね」との事でした。事務所のテーブルで二人だけでそれはそれは楽しそうに相談し作業していました。数日後「完成した紙芝居を0歳の赤ちゃんに見せてあげたい」と読んであげに行きました。その後1歳児クラス、2歳児クラスと順に回って行きました。読むたびに段々と読み方も上手くなり、小さい子どもたちとの距離も近くなります。読んでもらった子どもたちもお兄さん、お姉さんのお話を嬉しそうに聞いたそうです。

やりたいことがあること、それを叶えるために自分たちで試行錯誤し頭と体を使い楽しい活動を充実させることで凛とした年長児の姿に成長すると言われています。今年の5歳児クラスの子どもたちも日々の遊びや様々な行事の中で、自分たちのやりたい思いを叶えることを積み重ね誇らしげに自分たちの活動を展開、充実させている姿に成長を感じている毎日です。



1月の行事予定

新年お祝い会
5歳児クラス懇談会
乳児お楽しみ会
(0・1・2歳児クラス)
中旬 身体計測、避難訓練



2月の行事予定

節分
4歳児クラス懇談会
0,1歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会
2歳児クラス懇談会

ちょっぴり「おにいさん」「おねえさん」気分で…

1, 2歳児クラスと一緒に散歩に出かけた碑文谷公園からの帰り道、1歳児の子が歩き疲れて足を止めてしまいました。保育士が「ちゅうりっぷさんと一緒だったら歩けるかな」と話しかけていると2歳児の子が得意げな表情で「つなごう」と手を差し出してくれました。1歳児の子は照れながらも嬉しそうに手をつないで一緒に歩いて保育園まで帰ってくることができました。

その後の散歩でも、年下の子が困っていると自分から「手を繋ごう」と言ってくれる姿があります。“お兄さん・お姉さん感”を味わっている子どもたちを頼もしく感じながら見守っています。



やってみよう！～遊びの中にある子どもの気づきと探求心～

つくし組（0歳児クラス）



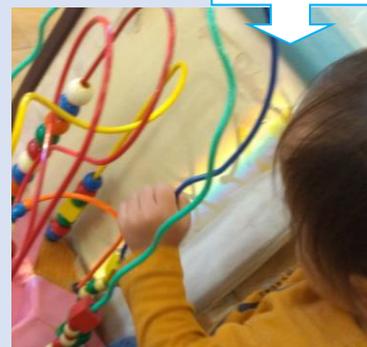
床の上で箱を押して遊んでいた子が箱を横に倒していました。横に倒した箱に頭から入ろうとしましたがうまく入れません。今度は箱を逆さにしています。よじ登っては危ないと思い保育士が箱の向きを直すと納得いかない表情で、自分で箱を逆さに戻し保育士をちらっと見ながら箱を押し始めました。「逆さにしてみたかったのね」と声をかけて見守っていると、いつもと押す感覚が違うのを感じて試しているようです。しゅーという箱が動く音を確認するようにしながら棚の周りを何度も走らせて楽しんでいました。



すずらん組（1歳児クラス）

午後保育室で遊んでいると、棚にはっきりとした虹が移っていることに気づいた子どもたちです。“何かな？”と気になって近づいたり覗き込んだりしています。1人の子が「きれい」と触ってみようとしているので、その様子を写真に収めたくて保育士が立ち上がると陰になり虹が消えてしまうと「ない」と慌てて探しています。その様子を見ていた別の子は虹が隠れて見えなることにも気づき、どこに立ったら虹が消えてしまうか動いて試してみたり、友達の背中に映った虹を見つけて嬉しくなって笑ったりして、不思議な発見をみんなで楽しんでいました。

虹色の影



たんぽぽ組（3歳児クラス）

桜の枝に取り付けているロープの先端に「触りたい」とタイヤを重ね始めました。4つ重ねたところで「もうとどくんじゃない」「まだまだなの」と意見が分かれましたが「まだまだなの」と言いながらさらに重ね続けて8つ積み上げました。バスマットをのせてようやく登ろうとしましたが、高すぎて登れず困っています。少し考えてから傍で見ていた友達に「だっこして」とお願いしています。“抱っこ？”と思いましたが危なくないように見守ることにしました。頼まれた子も張り切って抱き上げようとしたのですが一緒に倒れてしまいました。そんな様子を見ていた別の子が「階段にしたらどう？」と8つのタイヤの横に4つのタイヤを重ねてくれました。そこに上ってみると、なんとロープの先端に手が届き「あれ、とどいた」とみんなで笑いあっていました。

